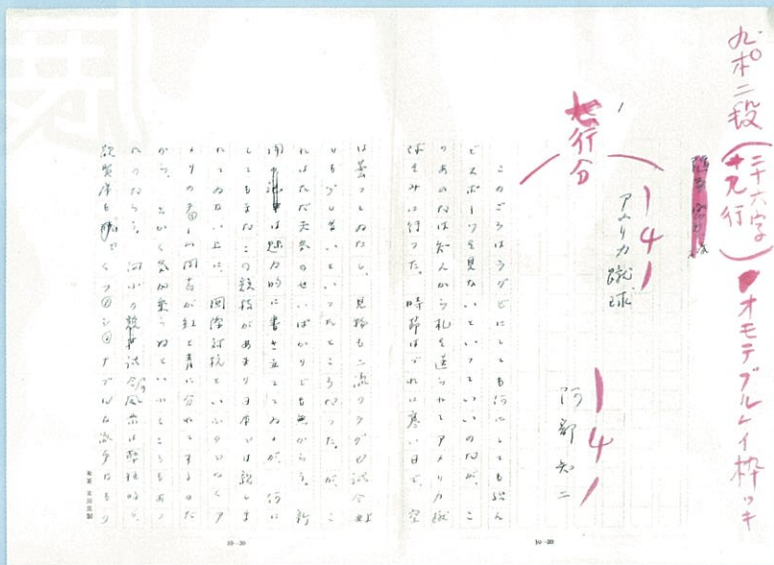


特別展 吉備路の 文学者と スポーツ展

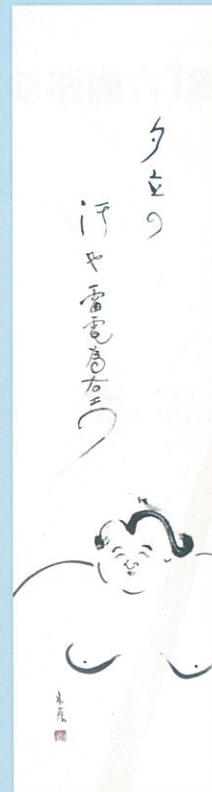
2020
6.7日 ≫ 9.6日



2020年、日本では、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。この記念すべきオリンピックイヤーにちなみ、“スポーツ”に焦点を当てた特別展「吉備路の文学者とスポーツ展」を開催いたします。当館が所蔵している貴重な資料の中から、オリンピックやスポーツを題材にした作品を中心に、直筆の原稿や掛軸、初版本などを展示いたします。また、スポーツを愛好した吉備路ゆかりの文学者もご紹介いたします。本展示を通して、オリンピックをより楽しんでいただき、スポーツを読む魅力を味わっていただけましたら幸いです。



原稿「アメリカ蹴球」/阿部知二

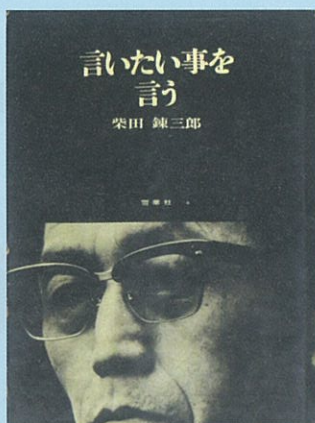


掛軸/江見水蔭

「夕立の汗や雷電為右工門」



『天才投手』上・下巻/藤原審爾
(徳間書店/昭和56年)



『言いたい事を言う』/柴田錬三郎
(雪華社/昭和41年)

「重量あげ」「柔道」など、東京オリンピック(昭和39年開催)の観戦記を収録。



『日本スポーツ文化史』/木村 毅
(洋々社/昭和31年)

企画展『吉備路ゆかりの文学者を知る』

吉備路文学館
KIBIJI LITERARY MUSEUM